

図書館だより

本で世界を広げよう！



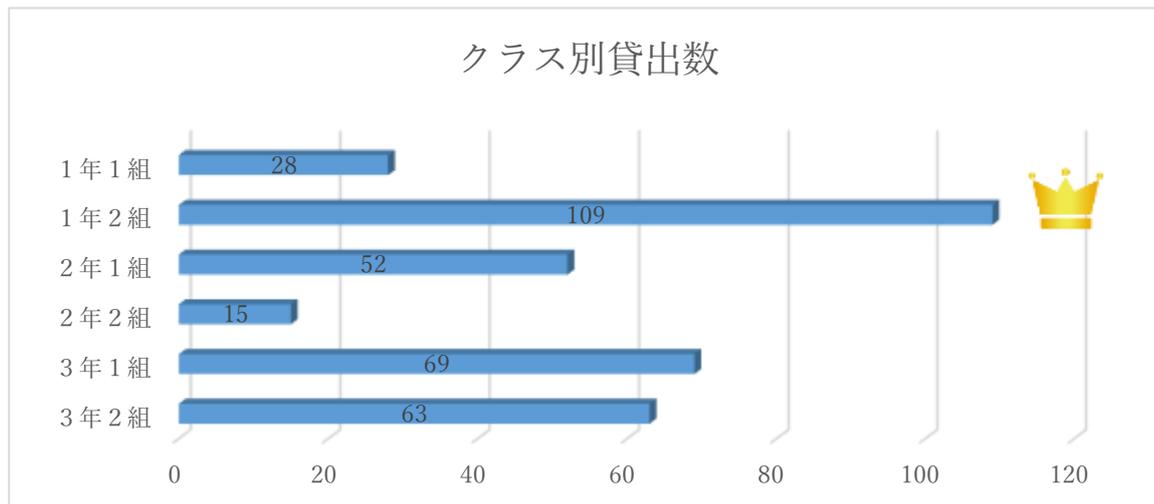
令和5年7月
大洲農業高校図書館

〈4～6月の図書貸出〉 総貸出数 336冊 生徒一人あたり1.8冊

夏休み中は読書の時間がたっぷりととれるチャンスです。

1冊でも多く本を読みましょう。

クラス別貸出数



〈図書館からのおすすめ本〉

図書委員

富永さんおすすめ

『Xゲーム』 山田 悠介著

復讐するところがすごく生々しくとてもおもしろいです。

小久保英明は小学校時代「Xゲーム」と称し、仲間4人で蕪木鞠子をいじめ続けた。段ボール箱にいじめの内容を書いたクジを入れ、それを引いては書かれたことを実行するのだ。ある日、英明は「蕪木に告白する」というクジを引き、やむなく愛を告げる。それから12年、突然、彼らの前に現れた蕪木は、英明への偏執的な愛を抱き壮絶な復讐を始める。

『ドッグ・シェルター 犬と少年たちの再出航』

今西 乃子著

アメリカの少年院で行われているドッグトレーニングを通して、一度は人に捨てられた犬たちと過ちを犯した少年たちが、再び社会と人間への信頼を回復していく姿を実際に取材し、豊富な写真と共に追う感動ドキュメント！

図書委員

新しくんおすすめ



読書感想文課題図書 特集

【高校の部】

【ラブカは静かに弓を持つ】 国内の音楽著作権を管理する組織に勤める橘。命じられ、身分を隠し音楽教室にチェロの受講生として潜入した。教室の演奏が権利侵害にあたり、使用料が必要という主張の証拠を集めるためだ。

しかし、浅葉講師の演奏に心魅かれ、音楽を愛し信頼で結ばれた人々に接するうち、少年期の事件で離れていたチェロへの情熱がよみがえる。一方、自分がやっているスパイ同然の行為に苦悩し始める。橘の心の葛藤と、チェロの音色が響き合う。

【昆虫の惑星 虫たちは今日も地球を回す】 ノルウェーの女性昆虫学者による一冊。前半は昆虫の体の仕組みや機能などの生態、後半はヒトと昆虫の関わりがとりあげられる。昆虫の生態から出発し、次第に視野を広げ、最新の知見を交えながら生物多様性の課題へと発展する構成。

著者は、現在昆虫の多様性が危機に直面しており、これは人間にとっても同様に危機であることを述べ、生物多様性の危機に警鐘を鳴らす。昆虫が苦手な人にも新たな視点を提供し、昆虫の生態を知る意義を説く。

【タガヤセ！日本 「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます】 農林水産省の公式 YouTube チャンネル「BUZZ MAFF (ばずまふ)」で活動する著者が、最新の農業や農業の未来を軽快に語っていく。

米やイチゴ、和牛の品種改良の秘密、ドローンやロボットを活用したスマート農業、SNS で情報発信し販売まで手がける農家など、興味をそそられる話題が満載。食料自給率や食品ロスなど日本の農業が抱える課題にも言及している。普段私たちが食べている農畜産物への興味、関心が深まる。

【中学校の部】



興味のある本をぜひ見つけてみてください。

詳しくは、「読書感想文課題図書2023」で検索してください。